戸島神社　岡山県神社庁　神社検索システム

由緒







　戸島は乙島の古名である。「備中誌」に戸島「名勝考」に「浅口郡乙島成ルベシ此處モ近キ頃ハ陸ヲ離レタリシ處ナリ」と見える。
臨海家有晨起望戸島人
　「天のはら明けて戸島を見渡せば渚さ静かに波ぞよせくる」
この歌は永承元年（1064）１１月１５日主基方備中国杢頭兼文章博士讃岐権介藤原朝臣家経の詠で大嘗会和歌集に記されている。
　創立年代は詳らかではないが、往古からこの地に鎮座していたと言い伝えられ、旧社名を養父母大明神と称した。明治４年戸島山鎮座の「養父母大明神」へ乙島八幡山鎮座の八幡宮を合祀の際、乙島の古名の戸島をとって戸島神社と改称し今日に至っている。
　約６２０年前の貞治元年に現在の小高地阿弥陀堂に来往した小幡大和守友義入道が、「養父母大明神」の社殿を造営し大剣、古鏡等の宝物を寄進している。

前の写真へ次

基本情報

神社コード	05001
神社名	戸島神社（トシマジンジャ）
通称名	
旧社格	郷社
鎮座地	〒713-8103 倉敷市玉島乙島1251
電話番号	086-522-3377
FAX番号	086-522-4169
駐車場	有　10台
御祭神	伊邪那岐命,伊邪那美命,天照皇大神,譽田別尊,玉依姫命,天兒屋命,太玉命,氣長足姫命,大雀命,足仲彦命
御神徳	学業成就，安産，家内安全，殖産興業，海上安全
主な祭典	４月最終土・日曜日：春季例大祭 １０月最終土・日曜日：秋季例大祭
宮司宅電話	
URL	
e-mail	

特記事項

秋季例大祭（乙島祭り）
戸島神社秋季例大祭は（乙島祭り）は約７００年の歴史をもつといわれており、明治以前の御神幸は養父母大明神、八幡宮2社に別々に行われていた。
当時は乙島村の「志あげまつり」と呼ばれていた。
当日（日）は午前5時境内に3隻の御船、９台の千歳楽、やっこ、鬼、獅子等が参集し神事の後、御輿を先頭に午前6時製作年次の古い順に乙島の町に向かって出発する。これを「お下がり」という。約10時間余り乙島地区中を巡行する。御還幸を「お宮入り」という。まず先頭をきって日本三体みこしのひとつといわれる乙島の宝「御輿」が境内に上がり境内ところせましとかつぎ、ねりまわる。次いで、御船千歳楽、だんじり、やっこ、鬼、獅子等の順に「お宮入り」する。
暮れなずむ神社の森の中をぼんぼりの灯りに照らされた色とりどりの千歳楽が170段の石段を歌声、かけ声勇ましく左右に蛇行しながら上る様子は誠に壮観、他にたとうべきものがない。

氏子地域

倉敷市（玉島１丁目　半分が戸島神社半分が羽黒神社、玉島２丁目　半分が羽黒神社、半分が戸島神社、玉島３丁目　3/4が戸島神社、1/4が羽黒神社、玉島乙島）

交通アクセス

ＪＲ山陽本線新倉敷駅　住友重機行バス戸島公園前から徒歩１５分

神事一覧

夏祭	祭礼日時：	文化財指定：無	神事詳細
神輿行事　その他（獅子舞含）別紙参照	祭礼日時：10月	文化財指定：有	神事詳細
獅子舞	祭礼日時：	文化財指定：有	神事詳細
社日	祭礼日時：	文化財指定：無	神事詳細

検索画面に戻る



© 2016 Okayamaken Jinjacho